

プログラム名：社会リスクを低減する超ビッグデータプラットフォーム

PM名：原田 博司

プロジェクト名：ヘルスセキュリティ

委 託 研 究 開 発

実 施 状 況 報 告 書 (成 果)

平 成 27 年 度

研究開発課題名：

医療データの統合・解析による予測モデルの構築とリスクシミュレータの開

発:経年的患者実態把握と保健医療支出シミュレータの開発

研究開発機関名：

一般財団法人 医療経済研究・社会保険福祉協会

医療経済研究機構

研究開発責任者

満武 巨裕

I 当該年度における計画と成果

1. 当該年度の担当研究開発課題の目標と計画

当該年度(研究期間:平成 28 年 2 月～3 月)に限定すると、本研究に利用するデータに関して、データ提供元(保険者)との同意、およびデータの収集を行うことである。

当該年度(平成 27 年度)と平成 28 年度にまたがる目標と計画は以下である。

独自に収集するレセプトデータなどを用いて、各患者の時系列データを作成し(～平成 28 年 8 月:1-2 年間のデータを活用)、医療需要と供給のエビデンスを蓄積し(～平成 28 年 12 月:1-2 年間のデータを活用)、可視化を実現する(～平成 29 年 3 月:1-2 年間のデータを活用)。

2. 当該年度の担当研究開発課題の進捗状況と成果

2-1 進捗状況

第一に、データ提供元(保険者)との合意に至った。第二に、ステークスホルダとして地域医師会への説明も行い、協力関係を構築した。

予防・医療・介護の連携の実態把握は、三重県の国保と後期高齢者をフィールドに医療および介護レセプト情報の連結の確認を行った。

2-2 成果

レセプトから医療需要のエビデンスが確認できた(図 1)。また、供給のエビデンスも作成した(図 2)。プレ分析の段階ではあるが、可視化についても試行的にエビデンスを作成した(図 3)。



図1. 被保険者(三重県地域保険)の医療需要

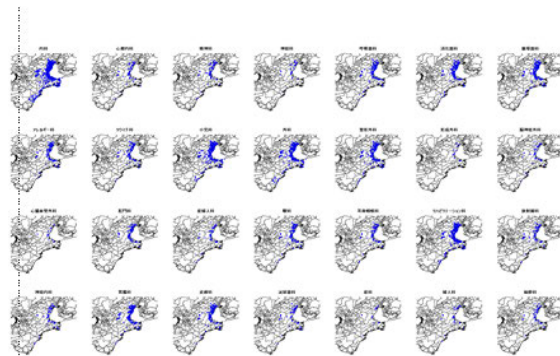


図2. 対象地域の診療科別供給情報

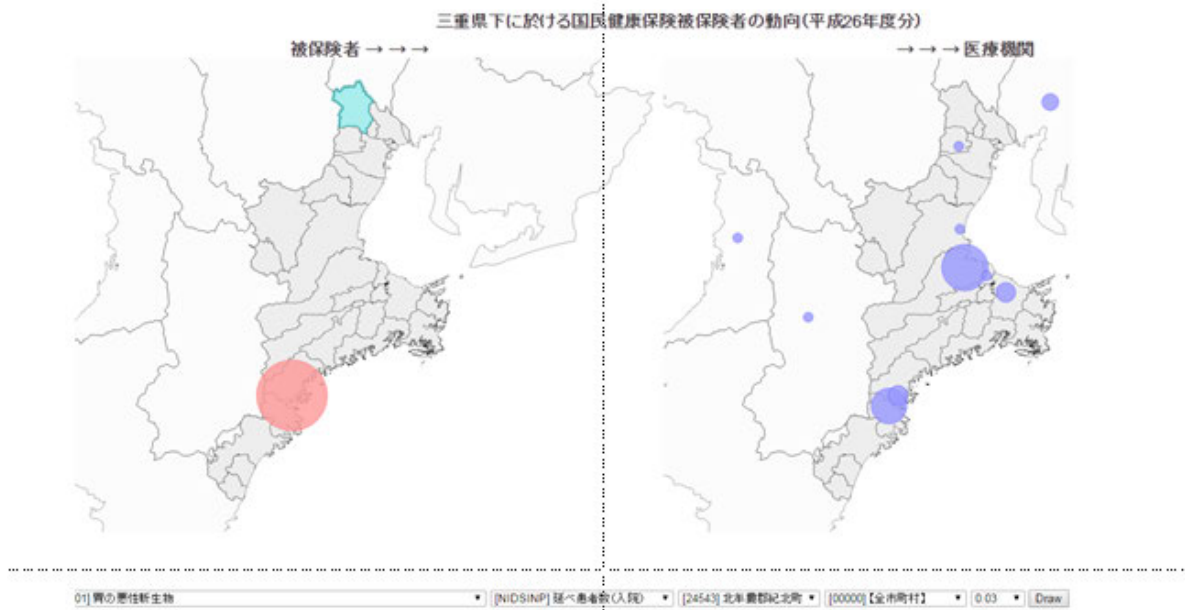


図3. 対象保険者(町)における、胃の悪性新生物の医療機関利用状況(入院)

2-3 新たな課題など

特になし

3. アウトリーチ活動報告

特になし